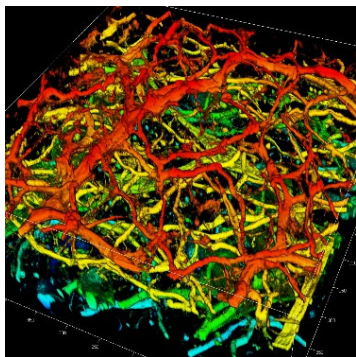


取組の様子



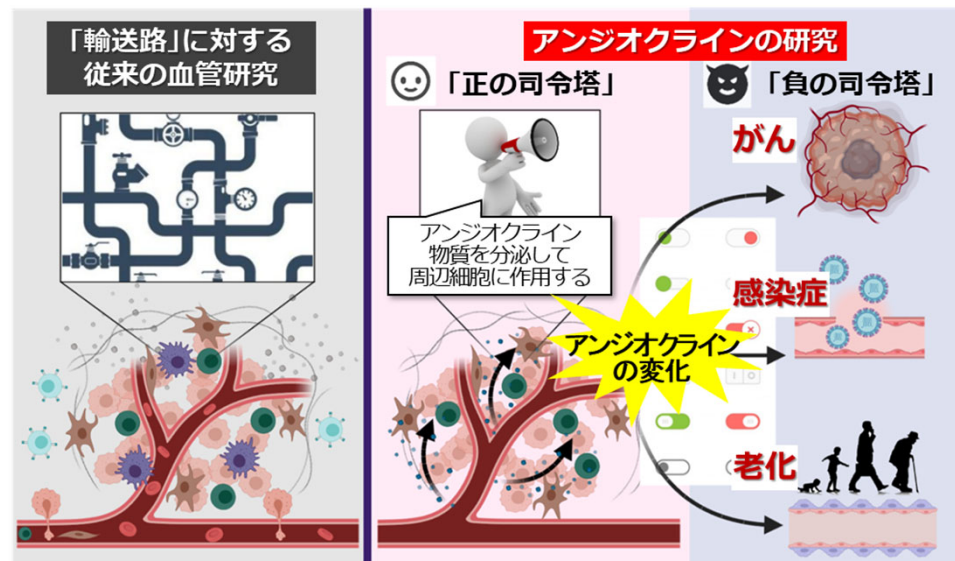
特色ある取組

血管は、酸素や栄養分の供給路であることがよく知られていますが、最近の研究から「アンジオクライン」というもう一つの重要な役割があることが明らかになっています。アンジオクラインとは、血管が様々な物質を放出することで周囲の細胞に対して司令塔のように働くことをいいます。さらに、アンジオクラインは感染症、さらには老化などによって異常化し、病気を促進させることが示されつつあります。つまり、アンジオクラインをうまく制御できれば、私たちが直面している健康課題を解決できる可能性が高いのです。このような血管の新機能であるアンジオクラインにいち早く注目し、福井大学では「研究ファーム」を展開しています。

福井大学では、学内外の異なる分野の研究者が連携して革新的な科学技術を創出するため、「研究ファーム」という独自の取り組みを進めています。「研究ファーム」では地域企業との連携も視野に入れており、研究概要やマッチングの希望内容などを特設Webサイト(参考URL)で公開しています。

期待できる成果・評価 など

アンジオクラインは幅広い領域に関わっており、研究を進めて医薬品などを開発するためには、多様な分野の専門家が集結する必要があります。アンジオクライン研究ファームでは、福井大学内で基礎・臨床の研究室が連携するとともに、大阪大学、東京医科歯科大学など20以上の大学・研究機関と共同研究体制を構築し、さらには地域企業との連携に向けても積極的に進めています。福井大学のメリットを活かした挑戦的な取り組みによって、アンジオクライン研究ファームは世界に先駆けて新規治療法の開発へと向かっています。



参考URL

・血管統御学研究室Webサイト

<https://ivb.med.u-fukui.ac.jp/>

・福井大学研究ファーム

<https://r-farm.ad.u-fukui.ac.jp/archives/farm/farm-738>